

下肢静脈瘤の手術を受けられる患者様へ(入院診療計画書)

様

	入院日(手術前日) (/)	手術当日(手術前) (/)	手術当日(手術後) (/)	手術後1日目~退院まで (/)~(/)
到達目標	・手術が予定通り受けられる。		・創出血が起こらない。 ・疼痛指示薬を使用することで創痛をコントロールできる。	・創出血がなく歩くことができる。 ・疼痛指示薬を使用する事で創痛をコントロール出来る。 ・弾性ストッキングを一人ではくことができる。
治療処置検査	・検温・検脈・血圧・身長・体重測定を行ないます。 ・下腹部から足にかけて医師の指示により除毛を行ないます。 ・医師が手術部位に印をつけます。 ・手術前に履くストッキングのサイズを測定します。	・起床後(午後の手術の場合は手術入室前)体温、血圧、脈拍、体重を測定します。 ・6時頃に浣腸をします。 ・入室前に医師の指示で健側にストッキングを着用します。 (:)に手術室に入室します	・手術室から点滴の管が入ってきます。翌朝6時まで行います。 ・抗生物質の点滴を手術中、手術後に行ないます。 ・必要に応じて酸素をします。 ・足に包帯が巻いてあり、必要に応じて医師が包帯を巻き直します。	・点滴終了後点滴の針をぬぎます。 ・回診時包帯を外し弾性ストッキングを履きます ストッキングは毎日回診終了後着用し、寝る時脱いでください。 ・手術翌朝に採血があります。 ・次回受診時に創を見ます。
内服	・現在服用している薬を確認します。 ・12時に下剤を内服します。 ・中止薬がある場合は説明します。 ・中止薬以外は服用してください。	・医師から指示された薬を少量の水で服用します。	・飲水の許可が出たら夕方の薬を再開していただきます。	・通常通り服用している薬を飲んで下さい。 ・朝から抗生物質の服用または点滴があります
安静度 排泄 清潔	・医師に確認後お知らせします。 ・入浴ができます。		・ベッド上安静です。 ・手術した足の血流を良くするため枕で足を上げます。 ・手術室から尿の管が入ってきます。	・起床後尿の管を抜きその後自由に歩行ができます。抜去後はじめての尿は看護師が付き添い、尿の性状を観察しますのでお知らせ下さい ・シャワーに入れます。(創部に防水の絆創膏が貼ってあります。絆創膏は剥がさないで下さい)
食事	・お粥・米飯の希望がありましたら、お知らせ下さい。 ・午後9時から食べることができません ・麻酔科医師の指示で絶飲食か術前経口補水液を飲む場合があります。 ①絶食、絶飲の場合 夜9時以降は食べられません、水分は麻酔科医師の指示の時間まで飲めます ②術前経口補水液を飲む場合麻酔科医師の指示を確認し飲水方法や量を看護師が説明します。	手術開始までは ①の場合手術前は飲んだり食べたりできません。 ②の場合麻酔科医師の指示された術前経口補水液を飲みます。	・朝から手術の場合、夕方より食事が再開になります。 ・昼より手術の場合、食事は翌朝からとなります。 ・医師の許可が出たらお水を飲むことができます。看護師が説明します。	
説明指導	・医師から手術の説明があります。 ・麻酔科から麻酔の説明があります。 ・看護師から入院と手術の説明があります。 ・手術室の看護師から説明があります。 ・紙オムツ、弾性ストッキングを用意してください。(両方とも売店にて購入が可能です。)		・痛みが辛い時は痛み止めがあります。看護師にお知らせ下さい。	・退院日に医師から説明があります。 ・看護師から退院後の生活と次回受診日について説明があります。

※この用紙は退院までのおおまかな経過をお知らせするものです。患者様の状態により変更になる場合もあります。